

# PandD グラフィッカ勉強会

## 第1回 ～FireAlpaca～

“ FireAlpaca[ファイア アルパカ]は Mac、Windows 両対応のフリー ペイントツールです。シンプルな機能と操作性で、初心者でも気軽にイラスト制作が楽しめます。 ”

<http://firealpaca.com/ja/>

今回は、FireAlpaca を使ってグラフィック制作について勉強したいと思います。FireAlpaca は、冒頭でも記述した通り基本的な機能を備えたフリーのペイントツールです。

グラフィックなんかは習うより慣れる、だと思いますが取り敢えず手順は以下の通りです。

1. <http://firealpaca.com/ja/> からインストーラを DL、EXE ファイルを実行してインストール
2. [ファイル][新規作成]で適当なサイズのキャンバスを作成。  
あまり大きすぎると動作が重くなるので大きくても A4 くらいにしておくのが吉。  
解像度は大体の場合 600dpi でいいと思われ。その辺は制作するものの仕様に従ってください。  
キャンバスサイズ・解像度は後からでも変更できます。背景色は透明にしておきましょう
3. 描く。こまめに保存&バックアップもとっておきたい
4. 完成！ [ファイル][名前を付けて保存]で適当なファイル名を付け、ファイルの種類を仕様に従って変更して保存。後から編集するかもしれないので.mdp 又は psd のファイルも残しておきましょう。  
仕様は大体 PNG です。その時は透過 PNG にしましょう

※上記の”適当”は”良い加減”という意味です。”適切”です。決してデタラメにしないでください

☆便利機能☆

[ファイル]

[新規作成](Ctrl+N)

[上書き保存](Ctrl+S)

[名前を付けて保存](Ctrl+Shift+S)

[ラスターライズ]…グレースケール等

[環境設定](Ctrl+K)

[ショートカット設定]

[編集]

[取り消し](Ctrl+Z)[やり直し](Ctrl+Y)

[切り取り](Ctrl+X)[コピー](Ctrl+C)[貼り付け](Ctrl+V)

[トリミング]…選択範囲以外切り捨て

[左回転][右回転][左右反転]…ファイル自体を回転・反転

[画像解像度]…キャンバスの拡大縮小

[キャンバスサイズ]…拡大縮小はせずにサイズ変更

[レイヤー]

[フォルダ内を統合]

[回転]

[フィルタ]


全体の色を変えたりガウスかけたり色々

[ウィンドウ]

[表示・非表示](Tab)…全体を観るときに

### ☆ペン・ブラシについて☆

ペン・ブラシは、いちいち消しゴムに持ち替えなくても(Z)を押しながら描画しようとする透過色で描画、即ち消すことができます。

ブラシサイズは[ブラシコントロール]ウィンドウから変更できますが、(Ctrl+Alt)を押しながら左右にドラッグすることでも変更することができます。又、(Ctrl+Alt)を押しながら単タップすることでデフォルトのサイズに戻すことができます。デフォルトのサイズを変更する際は[ブラシ]ウィンドウの変更したいブラシをダブルクリックしてブラシを編集します。新しいブラシを作る場合はブラシの追加 

### ☆範囲選択について☆

FireAlpaca では、矩形(長方形)選択・なげなわ選択・領域選択・選択ペンを使い範囲選択ができます。このとき、選択ペン以外のツールにおいて(Shift)を押しながら選択することで現在の選択範囲に追加、(Ctrl)を押しながら選択することで現在の選択範囲から除外することができます。

選択ペン以外の選択ツールで選択範囲を移動しようとする、選択する範囲のみが移動します。選択範囲の描画内容を移動したい場合は、[選択範囲][変形](Ctrl+T)で移動します。このとき、拡大縮小及び自由変形を行うこともできます。移動後は再度(Ctrl+T)を押すか、描画面面右下の[Ok]を押すと決定します。決定するまでは移動されていない扱いの為、ツールを変えたりレイヤーを変えたりすると元の位置に戻ってしまいます。決定前に(Ctrl+Z)を押すと移動前の更に1つ前に戻ってしまうことに注意してください。

範囲選択をした後、移動ツールで移動させることもできます。こちらは離れた時点で移動される為、キャンバス外に出た部分は切り捨てられることに注意してください。移動ツールで(Ctrl)を押しながら移動させると、選択範囲の描画内容を残したまま同一レイヤーに選択範囲のコピーを移動します。

### ☆レイヤーについて☆

せっかくレイヤー機能があるので使った方がいいです。でもレイヤー増やしすぎるとしにますレイヤー数にも上限があります。不要なレイヤーは削除、分ける必要のないところは統合しましょう。レイヤーグループを作り、まとめておくと管理がしやすくなります。[レイヤー]ウィンドウでドラッグ&ドロップすることでレイヤーの順番を変えたりレイヤーグループに入れたいことができます。但し、グループの一番下に入れようとするグループから出てしまうので、下から順番に入れてください。

レイヤーには色々なブレンドの種類がありますが、その辺は自身で試してみてください。不透明度を下げると半透明になります。[レイヤー]ウィンドウで各レイヤーの左端をクリックするとレイヤーを非表示にすることができます。これらはレイヤーグループ単位でも操作できます。

[透明度を保護]すると、そのレイヤーは既に描画されている範囲にしか描画できなくなります。一部だけ色を変えたり模様を付けたりするときに便利です。

[クリッピング]すると、そのレイヤーの下のレイヤーに描画されている範囲しか表示されなくなります。下地とは別のレイヤーに模様を描くときや影・ハイライトを付ける際に有用です。

[ロック]したレイヤーには描画できなくなります。

☆ショートカットキー等☆ ここに記載しているのは初期設定です(たぶん)

メニュー: ファイル(E) 編集(E) レイヤー(L) フィルタ 選択範囲(S) スナップ(N) カラー(C) 表示(V) ツール(C)

ツールバー: 前景色 (前景色) ナップ (Off) 背景色 (X) 透過色 (透過色) (Shift+Z) 色のピレット (D) アンチエイリアシング 手ぶれ補正 1

カラーパレット: 前景色 (前景色) 背景色 (X) 透過色 (透過色) (Shift+Z) 色のピレット (D)

ツールリスト:

- ペン (B)
- 消しゴム (E)
- ドット (Shift+B)
- 移動 (V)
- 長方形 (N)
- 塗りつぶし (G)
- グラデーション (Shift+G)
- 長方形選択 (M)
- 投げた物選択 (L)
- 領域選択 (W)
- 選択ペン (S)
- 選択消し (Shift+S)
- テキスト (T)
- 操作ツール (O)
- 分割ツール (Shift+O)
- スポイト (I)
- キャパシタ移動 (H)

ブラシパネル:

- 3
- 15
- 1 NO NAME
- 2 NONAME
- 50 エアブラシ
- 5 pen

ステップ (左+S 1~7)

957 \* 933 pixel (4.9 \* 4.7cm) 500 dpi 66 % (1042, 698) Shiftキーを押しながらで直線描画、C

[ファイル][ショートカット設定]から変更できます。

